



第1回学校生活生徒、保護者アンケートの結果報告

1学期の欄は肯定的に回答した割合となっています。その横には最上位回答「当てはまる」と回答した割合が記載されています。

【生徒】	1学期(%)	最上位回答(%)
将来の夢や希望がある【学園評価指標】	78	51
家の人(兄弟姉妹以外)と将来のことについて話すことがある	74	43
学校が楽しい	88	54
みんなで何かをするのは楽しい	91	70
自ら考え、よりよい生活をしようとしている【学園評価指標】	92	50
よりよい学校や学級になるために、自分たちで考え、自分にできることを見つけて取り組もうとしている【学園評価指標】	88	44
自分にはよいところがあると思う	85	48
難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	71	29
授業に主体的に取り組んでいる	90	47
授業がよく分かる	89	38
授業や家庭学習の課題を解決するために、いろいろな方法で考えたり、みんなと関わり合ったりしながら主体的に学習を深めようとしている【学園評価指標】	87	38
ペア学習やグループ学習などの対話によって自分の考えを広げたり深めたりしている	88	46
授業で思考ツールを使って考えている	47	13
タブレットを使って学習すると、友達の考えを知って自分の考えが広がったり深まったりしやすくなる	86	42
タブレットを使って学習すると、「自分の課題に向かってもっと学びたい」とか「疑問を解決したい」と思う	74	33
家庭学習を毎日1時間以上行っている(家庭教師や塾での学習時間も含む)	57	26
家庭学習ではAIドリルなど、毎日Chromebookを使って学習している	46	17
地域での学習や、地域の方との学習が楽しい	80	36
休日に行われている総合的な学習の時間(休日総合)では、課題意識をもって、学びたいことを探求している	77	33
テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている	74	48
登下校中に地震が起こったときの避難方法を知っている	88	55
心を込めて時間いっぱい黙働清掃を行っている	85	43
交通マナーや交通ルールを守っている	96	23
家族や周りの人に伝わる挨拶や感謝の言葉を使うことができている	94	68
時と場に応じた言葉遣いができる	92	60
健康的な生活習慣を心掛け、自己管理ができている	87	52
給食では残食をしないように努力している	86	60
学校に信頼できる先生がいる	85	53
第Ⅰステージ(基本のステージ)では、新たな出会いを通して、自分の仲間の個性やよさを実感するようなかわりをつくることができた	90	45
第Ⅱステージ(挑戦のステージ)では、自分や仲間の個性やよさを実感するような関わりの中で目標に向かって全力で挑戦している	89	44

【保護者】	2 学期(%)	最上位回答 (%)
お子さんは、日頃から将来の夢や希望を考えている(将来の夢や希望を語ったり話したりしている)【学園評価指標】	70	26
子どもと一緒に、子どもの将来のこと(夢や希望)について話すことがある	87	40
子どもの個性を認め、日頃から子どもと会話している	96	52
お子さんは、学校が楽しいと感じていると思う	87	38
子どもは、学校に信頼できる先生がいて感じていると思う	81	31
お子さんは、授業がよく分かって感じていると思う	62	13
お子さんは、主体的に探究しながら学習していると思う(自分の強みを伸ばし弱点を克服するために、自分の課題を見付け、自らの方法で粘り強く学習に取り組んでいる)【学園評価指標】	58	14
お子さんは、自ら考え実行しながら、生活していると思う(自ら考え、よりよい生活をしようとしている)【学園評価指標】	81	26
テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを子どもと決めている	72	27
インターネットや SNS で、どのような使い方をしているか保護者として把握している	85	26
お子さんは、挨拶や「ありがとう」等の感謝の言葉を使うことができている	92	46
お子さんは、地域で自発的・自治的に活動していると思う(地域のことを考え、地域の活動に積極的に参加している)【学園評価指標】	54	14
お子さんは、地震等の災害発生時どのような行動(安否確認、避難場所など)をとらなければならないか理解している	88	26
袋井市が幼小中一貫教育を推進していることを知っている	94	23

「学校評価アンケート」への回答ありがとうございました。夏休み期間中、職員はアンケート結果を、2学期以降の教育活動に生かすため担当毎、活動の見直しを行いました。

以前より「学校が楽しい」の項目について統計を取っていましたが、本年度は、生徒は何が楽しいと感じているかについても調査をし、教育活動に生かそうと考えました。調査をした結果、生徒が「学校が楽しい」理由として、最も回答が多かったのは「友人と関わる」という理由で約95%の生徒が友人との関わりに学校生活の意義を感じていることがわかりました。一方、1学期の中で SNS を介したトラブルが多々ありました。学校でも朝の活動(SFT)における情報モラル教育を実施するなど未然防止に努めています。また、保護者回答の「インターネットや SNS で、どのような使い方をしているか保護者として把握している」では85%の保護者の皆さまがお子様の SNS の活用状況について把握をしていることから、お子様の SNS 活用状況に関心を持っている御家庭が多いことがわかります。そのような状態にも関わらず、トラブルが多発する現状を踏まえると、学校も家庭も今以上に未然防止に努めていく必要性を感じています。友人との関わりに困難さが生じると生徒も「学校を楽しみ」と感じなくなる可能性もあるかと思えます。学校と家庭が協力して SNS 上のトラブルを少しでも減らし、生徒の学校生活が常に「楽しい」ものであるようにしていきたいと考えています。

周南中は「かかわる全ての人々が、笑顔で『楽しい』学校」への挑戦をしています。生徒自身が結絆祭やたちばな祭などの行事の企画を担うプロジェクトチームを立ち上げたり、全校生徒が安全、安心して生活を送るために、生徒会本部や専門委員会が主体的に活動したりするなど、生徒の主体性を最大限に生かし目標の達成を目指しています。また、不登校やいじめへの未然防止、早期対応を図るために、「デイケン」や「QU アンケート」を活用し、全職員がチームとなり、誰一人取り残すことのないように生徒一人一人に寄り添う支援を行っています。今後とも周南中学校の教育活動への御理解・御協力よろしくお願いいたします。